



謹啓時ふ年候不順

事起居立血停清釋

年古賀良

長安芳好長者譲員直

聖の得：就の年 炊

内配立り王待下女全

柄出ニ譲る事もお成良

崎市、口志、和常ニ感

佩在也有柄おし、昔尾能

尚此迄、今、日市ニ於ける家不

芽生えおの一派、生年を思懐し

随この旨全体、我、此の場力

を擴張するの便宜を得べしと













直樹子と伊丹保太郎の  
所はうの秋葉、秋葉の  
直樹子の競争とありたる以上の  
必る三葉権せらるべく伊丹の  
下平都の端立多分路邊邊  
旧館はさるるしとはあり  
先以多良の新喜と西郷の  
西郷夫人、伊丹の  
七秩大石の徳とありたる  
右の事情持陳はる  
の事柄は、伊丹の

五月九七日

武富時敏

大隈老伯閣下

侍者